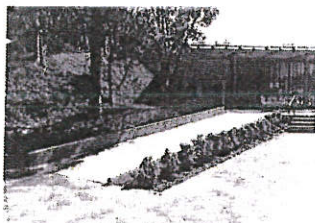


## 4. 改修イメージ図(アプローチ部:平面図)



シンボルツリーや低中木によるヒエラルキ(階層構造)のある緑化計画  
花木や紅葉樹による四季の変化や季節感を感じる植栽計画

階段踏み幅を広く確保し(450mm程度)迎え入れの演出感を高める

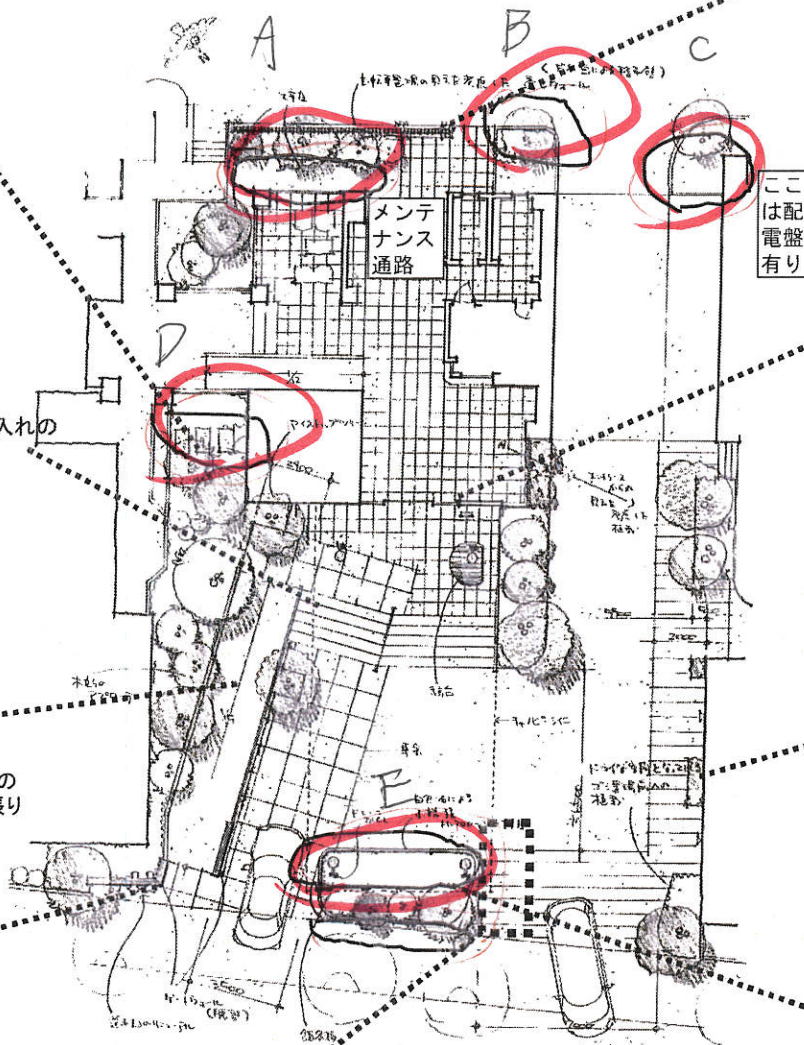


駅からの歩行動線を考慮した迎え入れとし、スロープをメイン動線と考え使いやすい直線状の復員2.4m復員、勾配1/15として計画(床は石張りとし開放感のあるガラス手摺を設置)

スロープの設置に伴い歩車分離を明確化



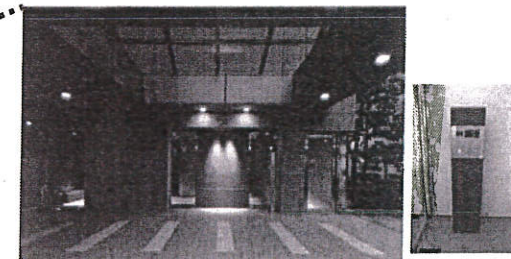
導入部に小壁を建てマンションの領域感を演出(消火栓壁のリニューアルも行う)



駐車スペースの縮小(1~2台)

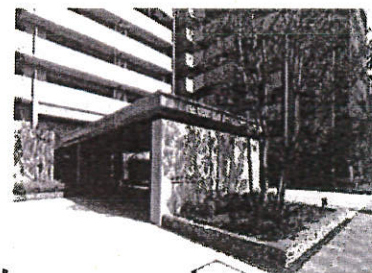


エントランス正面の窓越しに見える駐輪場の煩雑とした景観を改善するために窓外の植栽帯に透かしウォール(木目調ルーバー)を設けることで光や通風の開放感を確保しながら景観を整頓する



現状のテンキー式開き扉の使い勝手改善のためオートドアを設置(昼間は自動開閉、夜間は暗証番号による操作)オートドア操作盤前に縁台を設け操作盤利用時の荷物置きとする

ごみ置き場周辺の乾いた空間に植栽帯を設け潤いのあるマンションの顔造りを行う



キャノピーは幕板部分に小庇を設ける等ディテールを変更し重厚感を損なわない範囲で軽快なデザインとする

キャノピー(大庇)の足元は車寄せの変更に伴い花壇を縮小し、既存の歩道沿い花壇の立ち上がり壁(乱貼り)と調和の取れる石積み仕上げとする

キャノピーの樋の更新と併せて樋隠しを設ける